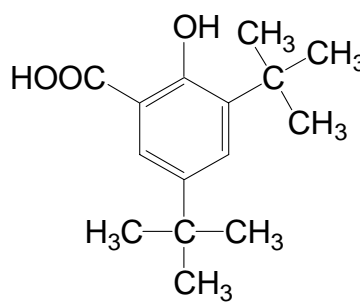
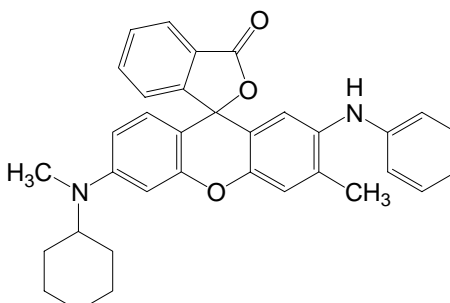


整理番号 K - 1650 (NEDO218, 3-3034)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
3,5-ジ-tert-ブチルサリチル酸 (19715-19-6)		事業対象年度 平成14年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
		試験期間 14. 9.30 ~ 14.11.29		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C <sub>15</sub> H <sub>22</sub> O <sub>3</sub> 分子量 250.33		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接	BOD 0, 0, 0 (0)%	試験結果	間接		試験結果
直接	HPLC 0, 2, 0 (1)%		直接			直接		
純度*1 100%	外観 白色粉末	審査部会 第24回 15年 5月20日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
融点*2 161~164	溶解度(対水, その他) 対水 16.3 mg/L(25 ) (カラム溶出法)	判定 難分解性		判定		判定		
沸点 測定不可(約265 で黄色に変化)	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 6.06 (Kowin v 1.66 による計算値)	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 98% (汚泥+被験物質)系 98% 2.実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所		備考		備考		
密度 1.086 g/cm <sup>3</sup> (25 )								
LD50	安定性							
IRチャートの有無 (有) ・ 無								
用途								
生産量(13年)*3 製造及び輸入 100~1,000 t 未満								
試料 購入先 Aldrich Chemical								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

\*1 HPLC による。 \*2 CRC Handbook of Data on Organic Compounds (HODOC ) による。 \*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

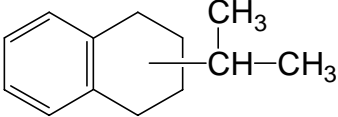
濃縮度試験		事業対象年度		平成16年度		濃縮度試験				毒性試験		
試験期間		16.11.29		~ 17.3.1		試験期間		. . . ~ . . .		依 頼	年月日	
試験装置 (標・揮)		LC50値 5.82 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)				試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			経過	
水槽設定濃度 (μg/L)						水槽設定濃度 ( )						
	被験物質	分散剤					被験物質	分散剤				
		2-メトキシ エタノール										
第1濃度区	50	20000				第1濃度区						
第2濃度区	5	20000				第2濃度区						
第3濃度区						第3濃度区						
濃縮倍率		脂質含有率		開始前 3.38% 終了後 3.02%		濃縮倍率		脂質含有率		開始前 % 終了後 % 魚種( )		
		5日後	10日後	19日後	25日後	28日後		日後	日後	日後		日後
第1	水槽濃度(μg/L)	51.2	46.8	51.0	49.9	48.9	第1	水槽濃度( )				
	倍率	2.8	2.8	4.1	2.7	2.7		倍率				
第2	水槽濃度(μg/L)	5.18	5.01	5.17	5.09	5.09	第2	水槽濃度( )				
	倍率	23	23	23	23	23		倍率				
第3	水槽濃度( )						第3	水槽濃度( )				
	倍率							倍率				
審査部会 第47回		17年		9月30日		審査部会 第 回		年 月 日		開催		
判定結果						判定結果						
備考		[ばく露期間における濃縮倍率]		第1濃度区 2.4倍 ~ 4.1倍 第2濃度区 23倍		備考						
[回収率]		試験水 96.7%		[定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 2.0 μg/L 第2濃度区 0.20 μg/L		供試魚 83.8%		供試魚 120 ng/g				
[実施機関]		財団法人 化学物質評価研究機構										

整理番号 K - 1655 (NEDO224,5-3631)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
3 - (N-シクロヘキシル-N-メチルアミノ)-6-メチル-7-		事業対象年度 平成14年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
アニリノフルオラン (55250-84-5)		試験期間 14.11.6~15.1.14		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮	
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C <sub>34</sub> H <sub>32</sub> N <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 分子量 516.63		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果	間接	BOD 0(-8),0(-6),0(-3)(0)%		間接	
直接	HPLC 0, 0, 0 (0)%		直接				
純度*1 98.7%	外観 淡桃白色粉末	審査部会 第25回 15年6月20日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
不純物*1 (物質名,含有率) 3-(N-シクロヘキシルアミノ)-6-メチル -7-アニリノフルオラン 0.56%	溶解度(対水,その他) 対水 20.0µg/L(25 ) (カラム溶出法)	判定 難分解性		判定		判定	
融点	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 8.60 (Kowin v 1.66 による計算値)	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 96% (汚泥+被験物質)系 96% 2.実施機関 ・広栄テクノサービス株式会社 3.特記事項 ・分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す。		備考		備考	
沸点 測定不可 (約250 で黄色に変化)							
密度*2 1.236 g/cm <sup>3</sup>							
LD50							
IRチャートの有無 (有)・無							
用途	安定性						
生産量(年)							
試料							
経済産業公報発表年月日	年 月 日						

\*1 提供先添付資料による。

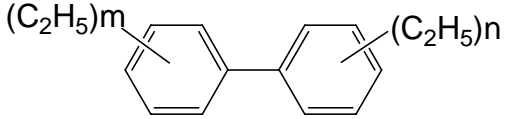
\*2 Beilstein Handbook of Organic Chemistry による。



整理番号 K-1714 (NEDO286,4-0577)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
イソプロピルテトラヒドロナフタレン (26916-60-9)	事業対象年度 平成15年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 15.10.20~15.12.17	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  (推定)   分子式 C <sub>13</sub> H <sub>18</sub> 分子量 174.28 組成式 C <sub>13.00</sub> H <sub>18.22</sub>	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
	間接 BOD 3, 2, 1 (2)%	間接	間接
	直接 GC 0, 0, 0 (0)%	直接	直接
純度*1 86.1%	外観 無色透明液体		
不純物*1 (物質名, 含有率) n-プロピルテトラヒドロナフタレン 9.1% ジイソプロピルテトラヒドロナフタレン 3.1% 不明成分 1.6%	溶解度(対水, その他) 対水 29.2µg/L(25 ) (カラム溶出法) 対ヘキサン 10 g/L 以上(25 )	審査部会 第32回 16年 3月17日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -20 以下		判定 難分解性	判定
沸点*2 300 以上(大気圧)	1-オクタノール/水分係数 log Kow = 5.28 (Kowwin v 1.66 による計算値)	備考	備考
密度*2 0.9383 g/cm <sup>3</sup> (25 )		1.回収率 (水+被験物質)系 93.5% (汚泥+被験物質)系 93.0%	
LD50	安定性	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 (有)・無			
用途*3 熱媒体			
生産量(年)			
試料			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

\*1 GC及びGC-MSによる。 \*2 入手試料として \*3 14705の化学商品(化学工業日报社)による。

濃縮度試験		事業対象年度 平成16年度										依 頼	毒性試験		
試験期間		16.11.26 ~ 17.4.18											年月日		
試験装置 (標)・揮		LC50値 0.472 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)													
水槽設定濃度 (μg/L)															
	被験物質	分散剤										経過			
		HCO-40					2-メトキシエタノール								
第1濃度区	4.305	25					19000								
第2濃度区	0.4305	2.5					19000								
第3濃度区															
濃縮倍率 ピークA 脂質含有率 開始前 3.43% 終了後 3.85% 魚種(コイ)						濃縮倍率 ピークB 脂質含有率 開始前 3.43% 終了後 3.85% 魚種(コイ)									
		14日後	28日後	39日後	47日後	60日後			14日後	28日後	39日後	47日後	60日後		
第1	水槽濃度(μg/L)	3.68	4.33	3.72	3.67	3.49	第1	水槽濃度(μg/L)	4.02	4.68	3.98	3.87	3.96		
	倍率	940	1100	1300	2000	1900		倍率	1100	1400	1500	1900	2000		
		1300	2000	2200	1700	2100			1200	1900	2200	1500	2200		
第2	水槽濃度(μg/L)	0.359	0.369	0.369	0.406	0.375	第2	水槽濃度(μg/L)	0.373	0.401	0.405	0.442	0.417		
	倍率	1400	1900	1300	1200	1300		倍率	1100	1800	1700	1700	1800		
		1300	1700	1900	1500	1300			1700	1500	2300	1800	2100		
第3	水槽濃度( )						第3	水槽濃度( )							
	倍率							倍率							
審査部会		第47回 17年 9月30日 開催													
判定結果															
備考							備考								
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 2000倍 第2濃度区 1400倍							[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 2000倍 第2濃度区 1900倍								
[回収率] [定量下限濃度]							[回収率] [定量下限濃度]								
試験水 88.0% 試験水 第1濃度区 0.14 μg/L 第2濃度区 0.014μg/L							試験水 85.9% 試験水 第1濃度区 0.18 μg/L 第2濃度区 0.018μg/L								
供試魚 91.0% 供試魚 11 ng/g							供試魚 84.5% 供試魚 17 ng/g								
[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構							[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構								

整理番号 K - 2 6 4 C ( N E D O 2 5 1 , 4 - 0 0 1 6 )	分解度試験	分解度試験	分解度試験																																		
トリエチルジフェニル	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日																																		
[別名：トリエチルピフェニル] (42343-17-9)	試験期間 16. 7.27~16. 9.13	試験期間 . . ~ . .	試験期間 . . ~ . .																																		
構造式(示性式)・物理化学的性状  $m+n=3$ $m, n$ は整数 分子式 $C_{18}H_{22}$ 分子量 238.37	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮																																		
	試験濃度	試験濃度	試験濃度																																		
	有機物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																																		
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																																		
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																																		
	間接	間接	間接																																		
純度*1 79.5%	外観 淡黄色透明液体	試験結果 間接	試験結果 間接																																		
不純物*1 (物質名, 含有率)	溶解度(対水, その他)	試験結果 直接	試験結果 直接																																		
テトラエチルピフェニル 1.0% その他(有機物) 19.5%	対水(25 )(カラム溶出法) ピーク A 2.67µg/L ピーク B 0.502µg/L ピーク C 15.5µg/L ピーク D 5.73µg/L ピーク E 0.409µg/L 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対ヘキサン 10 g/L 以上 対2-メトキシエタノール 10 g/L 以上	審査部会 第 4 7 回 1 7 年 9 月 3 0 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																																		
融点 -120~20 で明確な融点は認められなかった。		判定	判定																																		
沸点 300 以上	1 - オクタノール / 水分配係数 log Kow = 6.87 (Kowwin v 1.66 による計算値)	備考 1.回収率 (水 + 被験物質)系 97.8% (汚泥 + 被験物質)系 97.8% 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3.特記事項 ・提供試料を GC で分析したところ、34本のピークが検出された。このうち定量可能な被験物質ピーク5本を本試験において定量した。 各ピークの分解度(GC) <table border="1" data-bbox="1366 1220 1870 1460"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">分解度(%)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピーク A</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ピーク B</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ピーク C</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ピーク D</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ピーク E</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			分解度(%)				1	2	3	平均	ピーク A	5	1	0	2	ピーク B	6	0	0	2	ピーク C	5	1	1	3	ピーク D	5	1	1	2	ピーク E	1	0	0	0
	分解度(%)																																				
	1			2	3	平均																															
ピーク A	5			1	0	2																															
ピーク B	6			0	0	2																															
ピーク C	5			1	1	3																															
ピーク D	5	1	1	2																																	
ピーク E	1	0	0	0																																	
密度 0.9669 g/cm³	安定性																																				
LD50																																					
IRチャートの有無 (有) ・ 無																																					
用途*2 熱媒体																																					
生産量(年)																																					
試料																																					
経済産業省公報発表年月日 年 月 日																																					

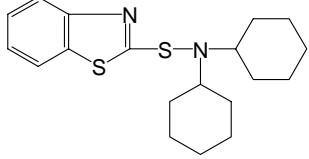
\*1 GC による。 \*2 14705 の化学商品 (化学工業日报社) による。

濃縮度試験		事業対象年度 平成15年度														依 頼	毒性試験		
試験期間		15.12.8 ~ 16.7.15															年月日		
試験装置	Ⓢ・揮	LC50値 >2.00mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)															経過		
水槽設定濃度 (μg/L)																			
	被験物質	分散剤																	
		2-メトキシエタノール							HCO-40										
第1濃度区	7.95	20000							50										
第2濃度区	0.795	20000							5										
脂質含有率		開始前 3.30%							終了後 4.73%							魚種(コイ)			
濃縮倍率 ピークA							濃縮倍率 ピークB												
		7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後			7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後				
第1	水槽濃度(μg/L)	7.27	8.36	8.42	8.41	7.90		第1	水槽濃度(μg/L)	7.57	8.09	8.25	8.45	8.26					
	倍率	1000	2900	2100	2100	2600			倍率	590	1300	780	1100	1200					
		1300	1800	2700	2300	2500			650	1000	1300	1200	1200						
第2	水槽濃度(μg/L)	0.656	0.710	0.747	0.824	0.833	0.726	第2	水槽濃度(μg/L)	0.691	0.769	0.774	0.778	0.735	0.646				
	倍率	2200	5800	3000	6200	6200	5600		倍率	780	1200	950	1300	1900	1500				
		2400	4000	5100	6000	7000	3900		820	1900	1100	1400	1700	1300					
審査部会		第47回 17年 9月30日 開催																	
判定結果																			
備考 [検出器]GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 2400倍 第2濃度区 5800倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 96.3% 試験水 第1濃度区 0.16 μg/L 第2濃度区 0.016μg/L 供試魚 91.7% 供試魚 29 ng/g									備考 [検出器]GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 1100倍 第2濃度区 1600倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 97.7% 試験水 第1濃度区 0.61 μg/L 第2濃度区 0.061μg/L 供試魚 95.3% 供試魚 110 ng/g										
[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構									[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構										



濃縮度試験		事業対象年度 平成15年度														依 頼	毒性試験	
試験期間		15.12.8 ~ 16.7.15															年月日	
試験装置	Ⓢ・揮	LC50値 >2.00mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)															経過	
水槽設定濃度 (μg/L)																		
	被験物質	分散剤																
		2-メトキシエタノール							HCO-40									
第1濃度区	7.95	20000							50									
第2濃度区	0.795	20000							5									
脂質含有率		開始前 3.30%							終了後 4.73%							魚種(コイ)		
濃縮倍率 ピークC							濃縮倍率 ピークD											
		7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後			7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後			
第1	水槽濃度(μg/L)	8.00	8.85	8.43	7.51	7.97		第1	水槽濃度(μg/L)	7.81	8.58	8.44	8.00	8.42				
	倍率	790	1900	1400	1700	1900			倍率	710	1600	1100	1300	1700				
		1000	1200	1900	2000	1700			820	1100	1500	1600	1500					
第2	水槽濃度(μg/L)	0.703	0.746	0.740	0.702	0.715	0.650	第2	水槽濃度(μg/L)	0.702	0.763	0.764	0.775	0.773	0.734			
	倍率	2000	3300	2200	4200	5500	5900		倍率	1400	2000	1400	2500	3700	2700			
		1900	3300	3100	4700	6200	4000		1500	2600	1900	2600	3200	2100				
審査部会		第 回 年 月 日 開催																
判定結果																		
備考 [検出器]GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 1800倍 第2濃度区 5300倍  [回収率] [定量下限濃度] 試験水 90.9% 試験水 第1濃度区 0.21 μg/L 第2濃度区 0.021μg/L 供試魚 92.1% 供試魚 41 ng/g									備考 [検出器]GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 1400倍 [ばく露期間における濃縮倍率] 第2濃度区 1400~3700倍  [回収率] [定量下限濃度] 試験水 91.8% 試験水 第1濃度区 0.10 μg/L 第2濃度区 0.010μg/L 供試魚 90.5% 供試魚 19 ng/g									
[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構									[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構									

濃縮度試験		事業対象年度 平成15年度														依 頼	毒性試験	
試験期間		15.12.8 ~ 16.7.15															年月日	
試験装置	Ⓢ・揮	LC50値 >2.00mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)														経 過		
水槽設定濃度 (μg/L)																		
	被験物質	分散剤																
		2-メトキシエタノール							HCO-40									
第1濃度区	7.95	20000							50									
第2濃度区	0.795	20000							5									
		脂質含有率 開始前 3.30% 終了後 4.73%														魚種(コイ)		
濃縮倍率 ピークE							濃縮倍率 加重平均											
		7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後			7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後			
第1	水槽濃度 (μg/L)	7.49	8.06	7.92	7.74	8.44		第1	水槽濃度 (μg/L)									
	倍率	510	1000	770	820	680			倍率	610	1500	1100	1300	1400				
		530	1100	860	940	720				760	960	1400	1500	1300				
第2	水槽濃度 (μg/L)	0.701	0.771	0.716	0.713	0.844	0.710	第2	水槽濃度 (μg/L)									
	倍率	540	1100	920	1200	1300	1200		倍率	1400	2500	1600	3000	3900	3900			
		640	1600	1000	1600	1600	1100			1400	2400	2300	3300	4200	2700			
審査部会		第 回 年 月 日 開催																
判定結果																		
備考 [検出器] GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 790倍 第2濃度区 1300倍							備考 [検出器] GC-MS											
[回収率]		[定量下限濃度]																
試験水	106%	試験水		第1濃度区		1.1 μg/L		被験物質は34成分の混合物である。BCFはピークA~Eの成分含量の加重平均を示す。										
供試魚	83.6%	供試魚		第2濃度区		0.11 μg/L												
						240 ng/g												
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構							[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構											

整理番号 K - 1 2 3 1 ( 5 - 0 2 5 6 )	分解度試験	分解度試験	分解度試験
N - モノ又はジシクロヘキシル - 2 - ベンゾチアゾリルスルフェンアミド	指示 6年 6月 28日	指示 年 月 日	指示 年 月 日
[ N, N - ジシクロヘキシル - 2 - ベンゾチアゾリルスルフェンアミド	試験期間 6. 9.27 ~ 7. 2.15	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
にて試験実施] (4979-32-2)	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C <sub>19</sub> H <sub>26</sub> N <sub>2</sub> S <sub>2</sub> 分子量 346.55	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
純度*1 99%以上	間接 BOD 0, 0, 0 (0)%	間接	間接
外観 灰白色グラニュール状	試験結果 直接 HPLC 4, 6, 0 (3)%	試験結果 直接	試験結果 直接
不純物*1(物質名,含有率) 2,2'-ジベンゾチアゾリルジスル フィド(5-0265)	溶解度(対水,その他) 対水 1.9µg/L(25 ) (フラスコ法) 対アセトニトリル 1 g/L 以上 対アセトン 1 g/L 以上 対クロロホルム 100 g/L 以上 対1-オクタノール 1.2 g/L 以上	判定部会 第 2 0 1 回 7年 3月 2 4 日開催	判定部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 103.5 ~ 105.5	1 - オクタノール / 水分分配係数 log Pow =4.80 以上 (フラスコ振とう法)	判定 難分解性	判定
沸点 300 以上(褐色に変化する)	加水分解性(25 の半減期) 〔試験濃度 約0.20mg/L〕 振とう pH4 4.92日 pH7 18.6 日 pH9 112 日	備考 ・回収率 (水 + 被験物質)系 96.5% (汚泥 + 被験物質)系 94.6%	備考
蒸気圧 7.0 × 10 <sup>-5</sup> Pa 以下(100 )	比重*1 1.25		
LD50	IRチャートの有無 (有) ・ 無		
用途*2 有機ゴム薬品(加硫促進剤)			
生産量(年)			
試料			
通産省公報発表年月日	年 月 日		

\*1 提供先添付資料による。

\*2 14705 の化学商品(化学工業日報社)による。

濃縮度試験指示															7年 3月 30日														
試験期間					第1・2 7.10.13~8.2.15 第3 7.12.12~8.2.15					試験期間					8.5.20~8.12.18					試験期間					12.11.24~13.2.16				
試験装置		Ⓢ・揮		LC50値 >130 mg/L(48hr)魚種(ヒメダカ)										試験装置		Ⓢ・揮		LC50値 >250 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)											
水槽設定濃度 (μg/L)					水槽設定濃度 (μg/L)					水槽設定濃度 (μg/L)																			
	被験物質	分散剤				被験物質	分散剤				被験物質	分散剤																	
		HCO-20	オリブ油				HCO-20	オリブ油				HCO-20	オリブ油																
第1濃度区	1000	20000	20000		第4濃度区	1	20	20		第6濃度区	0.01	0.2	0.2																
第2濃度区	100	2000	2000		第5濃度区	0.1	2	2																					
第3濃度区	10	200	200																										
濃縮倍率					濃縮倍率					濃縮倍率																			
脂質含有率 第1,第2濃度区 3.9% 第3濃度区 4.0% 魚種(コイ)					脂質含有率 第4濃度区 4.0% 第5濃度区 3.7% 魚種(コイ)					脂質含有率 開始前 2.58% 終了後 2.10% 魚種(コイ)																			
		2W	4W	6W	8W	10W			2W	4W	6W	8W	10W			14日後	21日後	29日後	35日後	42日後									
第1	水槽濃度 (μg/L)	947	947	948	953	954	第4	水槽濃度 (μg/L)	0.854	0.836	0.826	0.826	-	第6	水槽濃度 (μg/L)	0.00981	0.00912	0.00902	0.00928	0.00914									
	倍率	15	21	25	43	30		倍率	1750	3820	2900	2720	-		倍率	3800	3000	6800	4600	4900									
		24	24	19	80	25			1150	2830	3950	3140	-			5400	2800	5100	6800	7700									
第2	水槽濃度 (μg/L)	94.8	94.1	94.3	94.6	-	第5	水槽濃度 (μg/L)	0.0737	0.0779	0.0795	0.0807	-																
	倍率	74	316	188	156	-		倍率	3380	7310	5960	7200	-																
		96	118	242	158	-			4310	4870	6460	6010	-																
第3	水槽濃度 (μg/L)	9.65	9.71	9.70	9.69	-																							
	倍率	505	762	916	651	-																							
		331	538	618	527	-																							
審査部会															第47回 17年 9月 30日 開催														
判定結果																													
備考 [ばく露期間における濃縮倍率] 第1濃度区 15~80倍 第2濃度区 74~316倍 第3濃度区 331~916倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 第3濃度区 97.3% 試験水 第1濃度区 19 μg/L 第2濃度区 1.9 μg/L 第3濃度区 0.19 μg/L 供試魚 第1,第2濃度区 85.8% 供試魚 第1,第2濃度区 220 ng/g 第3濃度区 90.2% 第3濃度区 68 ng/g										備考 [ばく露期間における濃縮倍率] 第4濃度区 1150~3950倍 第5濃度区 3380~7310倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 第4濃度区 95.5% 試験水 第4濃度区 0.021 μg/L 第5濃度区 92.7% 第5濃度区 0.0025 μg/L 供試魚 第4,第5濃度区 85.6% 供試魚 第4濃度区 26 ng/g 第5濃度区 25 ng/g										備考 [定常状態における濃縮倍率] 第6濃度区 6000倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 第6濃度区 95.3% 試験水 第6濃度区 0.00047 μg/L 供試魚 第6濃度区 90.1% 供試魚 第6濃度区 2.5 ng/g									